

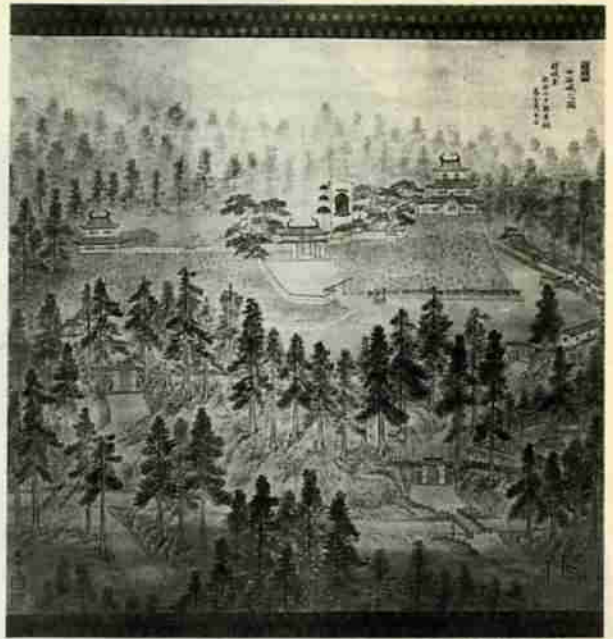


札内町のハッピー牧場では、羊の毛刈りが真っ盛り。
同牧場にはサフォーク種の羊を主体に1,400頭余りが飼育されています。今、毛刈りが行われているのは冬の間生まれた子羊を除く約1,000頭を対象で1日約40-50頭を刈っています。
暴れる羊を押えての仕事は大変な重労働。この作業、今月末頃まで続きます。

広報 のほろヤマト

'90.5. /
No.475

白石市より 白石城復元図 寄贈



白石城復元図

本市と姉妹都市提携にある宮城県白石市では、二十一世紀に向けて、第三次総合計画に基づき、白石市の特性である歴史のあるまちを強調して、文化のかおり高い個性豊かなまちづくりに取り組んでいます。

この計画の中の一つとして、『白石城』の復元計画があり、城復元のために多くの白石市民の方が史料等を寄贈してくれたとのこと。その中から『白石城之図』と『白石城下絵図』が復元され、この度、白石市教育委員会から当市に寄贈されました。

複製された絵図の大きさは、縦一〇九・一センチ、横七十八・八センチで色刷りされている立派なものです。

この二点の絵図は、市の郷土資料館に展示し、市民の方に公開していますので是非ご覧ください。

交通事故にあわないで

— 新一年生に交通安全PRR

青空がひろがった四月七日朝、市内の九小学校で入学式が行われました。



今年四十七名の新入学児童を迎える幌別東小学校では、真新しいランドセルを背に父母と一緒に登校してきた児童一人ひとりに交通安全の呼びかけが行われました。この呼びかけは「春の交通安全運動」の期間中に行われる入学式にあわせ、市、胆振支庁、室蘭警

察署、交通安全協会が実施したもので、この日は登別中央ライオンスクラブの方を含め約三十名が参加しました。

「交通安全」と書かれたタスキを身に付けた参加者は、交通安全の啓発用品の入った封筒を子供たちに手渡し「車に気をつけて」と事故のないよう呼びかけました。市は、新入学児童を交通事故から守るため、九月までの五か月間、交通指導員による交通安全指導を行うこととしています。

木彫りグループ「彫多利会」より手作りの鬼面が市に贈られました。同会は、昨年、はまなす国体バドミントン競技大会で来登した選手、役員へ、鬼の顔と金棒をデザインした木彫り四百五十個を贈りましたが現在では一個も残らず、このたび特製版を作成し今回の寄贈となりました。



会長の佐々木さんは「国体の記念にもなるし、今年は鬼サミットも開かれるのでいいタイミング」と手渡され、それを受け取った市長は、「この歯並びがなんとも言えない、早速、市民の目に触れるところへ飾ります」と、鬼の顔に見入っていました。

贈られた鬼面は国体のときの三倍程の大きさ。手作りの額に入れられた親玉は当面市民会館に飾られ、市民の目を惹きまかせます。

登別話題

おっ 親玉だ!! 木彫りの鬼面



登別市

市民憲章板が

贈られました

市民会館、鷺別公民館など市内十一か所の施設や公園に真新しい市民憲章板が建てられました。

この市民憲章板は、登別ロータリークラブ創立二十周年を記念し、同クラブより市に寄贈されたものです。

平成元年二月に登別市民憲章制定二十周年事業を行った同憲章推進協議会と市は、市民のみならずへ同憲章が定着していくうえで大変意義深いものととらえ、今後一層の市民憲章定着に向け気持ちを新たにしています。



熱戦

ミニバレー大会

突然雪が降り積もった四月十五日。登別市総合体育館は朝から歓声に包まれました。

この日は第四回登別ミニバレーボール協会会長杯大会が行われ、市内の愛好者が三十六チーム、白老町からの招待一チームの合計三十七チームが日頃の練習の成果を競い合いました。

ミニバレーは一チーム四名がバドミントンコートで戦うゲームで、ビニール製の軟らかいボール（ビーチボールを思い浮かべてください）を使います。ルールは六人制のバレーボールと大体同じで、気軽に楽しめるスポーツとして人気が高まっています。しかし、「ミニ」と



いえども、スポーツはスポーツ。本物のバレーボールと迫力は同じ

で、絶妙のトスワークから繰り出されるスパイクや、それを止めようとするブロックなど、攻守にわたり全力プレーで試合が進みま

決意もあらたに

—日本工学院北海道専門学校入学式—

日本工学院北海道専門学校（中山浩資校長）で四月十四日、平成二年度の入学式が行われました。

九期生となる今年の新入生は、女子四十二人を含む四百六十三人で、昨年より二十八人多くなっています。

今年の新入生は、情報処理科百七十九人、情報ビジネス科十九人、情報工学科三十四人、電子工学科五十八人、電気工学科四十六人、建築学科六十四人、土木工学科三十二人、機械制御工学科三十一人、道外勢も十二校十四人と過去最高となっております。

午後一時からの式典には、新入生とその父母約九百人が出席し、片柳理事長が「諸君の先人が築いた今日の平和と繁栄をよく認識し、更に確固たるものとしてほしい。」また、中山学校長は「本校は、すぐれた教師、すぐれた設備を有しているが、それを活かすのは諸君の心構えです。社会変化と普遍的なものに対応する力を身に付けてください」とそれぞれあいさつ。



熱戦の末、優勝は男子「PLU S1」、女子一部「ユニバーサルB」、同二部「チャームクリーンB」が勝ち取りました。

来賓の上野市長は「美しい自然の中で勉学に励み、市民として各種イベントにも参加し、登別市を第二のふるさととしてもらいたい」と歓迎の祝辞を述べました。

最後に新入生を代表して土木工学科の林富生さんが「時代を変革し、リードするような人間になるよう努力したい」と力強く答辞を述べ式を終えました。

公共下水道事業

供用開始まぢが

平成2年第1回定例会市議会が3月6日から26日までの日程で開かれました。

この定例会では、今年10月に一部供用開始される公共下水道事業についての条例が議決・制定されました。

本号ではそのうち受益者負担金、下水道使用料、水洗便所改造等融資あっせん制度、水洗便所改造等補助金制度についてお知らせします。

〈下水道に関する説明会日程表〉

住民説明会日程	会場	町内会名
5月15日(火)	老人福祉センター 大広間	新和会
16日(水)		山手
17日(木)	緑寿の家	若緑
18日(金)	登別大谷高校会議室	来福
28日(月)	商工会議所 3F会議室	曙 プレハブ
29日(火)	商工会議所 3F会議室	中央栄 中央駅前 中央 幌別銀座
31日(水)	商工会議所 3F会議室	十字街 中央町3丁目
6月1日(金)	商工会議所 3F会議室	中央新生 中央東
4日(月)	新川婦人研修の家	新川第2
5日(火)	ねむの木の家	香風町会
6日(水)	ねむの木の家	新川
7日(木)	あかしやの家	あかしや

※上の日程表により各地区で下水道に関する説明会を開催いたします。

〔受益者負担金とは?〕

道路や公園などの公共施設は、市民の誰もが利用でき、その恩恵を受けることができるものです。

しかし、下水道の恩恵は下水道が完備された地区の方々にだけに限られます。もし、下水道の建設を税金だけで賄おうとすると、下水道の完備されていない地区の市民との間に負担の不公平が生じることとなります。

そこで、下水道の整備された地区の方に建設費の一部を負担していただくこととするのが受益者負担金制度です。

〔負担金を納めていただく方は〕

公共下水道の排水区域内にある土地の所有者又は権利者です。

〔負担金を納めていただく時期〕

負担金を納めていただく区域が決まりますと「賦課対象区域」として皆さんにお知らせしますが、

下水道本管が完備し、水洗化などが可能となった翌年の七月から納めていただくこととなります。

また、負担金は一般の税金と異なり一度限りのもので、下水道を使用している、していないに係わりなく納めていただくことになっています。

〔負担金の額・支払い方法〕

負担金は、土地の面積に応じて金額が決定します。1㎡の負担金

額は五二五円と定められました。

(例)

百坪(三三〇・五七卅)の土地を

所有している場合の負担金額は、三三〇・五七坪×五二五円＝一七三、五四九円(負担金総額)となります。

この負担金を五年に分割し、さらに年四期に分けて納めていただきますので計二十回の分割納付となります。(百円未満の端数整理を行いますので年度、期別の額

表① 負担金支払い内訳(例 100坪=330.57㎡)

区分	負担金総額	1期	2期	3期	4期
年度	173,549	7月	10月	12月	2月
初年度	34,749	8,949	8,600	8,600	8,600
2年度	34,700	8,900	8,600	8,600	8,600
3年度	34,700	8,900	8,600	8,600	8,600
4年度	34,700	8,900	8,600	8,600	8,600
5年度	34,700	8,900	8,600	8,600	8,600

単位=円

に多少違いが生じます)表①

〔下水道使用料〕

下水道を使用しますと、水道の使用水量に応じて下水道使用料を納めていただきます。表②

表②

用途	基本料金(1月)		超過料金 (1㎡につき)	
	基本水量	金額		
一般用	8㎡まで	1,064	8㎡を超え 20㎡まで	138
			20㎡を超え 50㎡まで	143
			50㎡を 超えるもの	148
公衆 浴場用	100㎡ まで	2,500	100㎡を 超えるもの	25

使用料の額は、上の表により算定した合計額に100分の103を乗じて得た額となります。
たとえば

水道水を16㎡使用した場合の
1月当たりの下水道使用料は…

基本料金	1,064円
超過料金 8㎡ × 138円	1,104円
小計	2,168円
合計	2,168円 × $\frac{103}{100}$ = 2,233円

意見 ひとつ

市で進めている公共下水道事業は、今年十月一日より一部供用を開始する予定です。

今回は、この公共下水道についてのメリットや今後の下水道事業への希望等について市民の方からご意見をいただきました。

道が入る処だからと言われたんですが、あれから八年。私の家では平成四年の開始予定となっていましたから、ちょうど十年になるわけです。この地区に下水道が入ったから、すぐに水洗トイレにしようと考えています。

排水設備やトイレの改造には経費もかかりますから、個人的にその準備は始めています。

環境を守る点でも下水道は必要です。早く全市に普及するよう市でも努力してください。



富士町 吉川 文子さん
生活にうるおいを

都市機能として必要

中央町 木幡 貞則さん



下水道は都市機能として必要であると考えています。

悪臭などの公害や、汚水による河川の環境破壊の防止、それに土地の価値も上がるでしょう。私個人としては、下水道事業に協力していく考えは持っています。誰かが設置できるよう、融資等の面で市も積極的に援助してほしいと思います。

環境保護のために 早期完成を

新川町 根元 富雄さん



ここに家を建てたのが昭和五十七年で、その時は五年以内に下水

排水設備設置工事：一件十二万円、返済期間：十二か月

▼ 月

市が全額負担(ただし、処理開始の日から三年経過後のあつせらについては個人が一部負担することになります)

▼ 取り扱

市内金融機関(現在関係機関と協議中)

▼ 融資の対象

下水道が使えるようになった区域(処理区域)内の個人が所有する住宅(新築は除く)、若しくはその所有者の同意を得た使用者で次の事がらを備えている方となります。

- 一時に工事費を負担することが困難であること
- 償還能力を有すること
- 市民税、固定資産税及び受益者負担金を滞納していないこと
- 連帯保証人がいること
- 融資の限度、返済期間

● 水洗便所改造と排水設備設置工事：一件四十万円、返済期間：四十か月

● 水洗便所改造工事：便所一基二十八万円、返済期間：二十八か

● 排水設備設置工事：一件十二万円、返済期間：十二か月

● 排水設備設置工事：一万円

障害者(児)の

『完全なる参加と平等』

市は今年二月、体の不自由な方を対象にアンケート調査を行いました。
今号はアンケート調査の結果などについてお知らせします。

◎アンケート調査の趣旨

この調査はこれからの福祉サービスを推進するために、体の不自由な方々がどのような問題を抱えているかを把握するために行いました。身体障害者手帳または療養手帳の交付を受けている方千七百六十二名を対象に郵送方式で行い、寄せられた回答は八百九十八通、全体の五十一割でした。

◎現在抱えている問題

アンケート調査の結果、体の不自由な方の年齢は六十五歳以上が全体の四割を超えていること、また、障害の程度が重度化の傾向にあること、その障害の原因は疾病や事故などによるものが六割を占めていることが明らかにになりました。こうした回答内容から障害者とその家族は外出、入浴、排泄などの介護に関し、今後、核家族化が現在より進むであろうという状況下において、介護する家族の負担が一層増すのではないかと懸念を抱えていることがわかりました。また、多くの方が働く

◎現在望むこと

社会福祉施設への入所を希望する方は一割強。八割以上の方が家庭での生活を望んでいます。今後は家庭における介護の必要性が増大すると考えられることから、介護者の負担軽減、障害者自身の自立のため、風呂やトイレの改善が必要と答えています。また、家族と一語に和やかに生活することを六割以上の方が望んでいる一方で社会福祉施設の充実を望む多くの声があり、施設の在り方を含め、生活基盤や環境の整備を望む回答も多く寄せられました。

◎障害者のまちづくり対策の指針

心身に障害を持つ方がそれぞれの地域の中で安心して暮らすことが出来る「ノーマライゼーション」を実現するためには、体の不自由

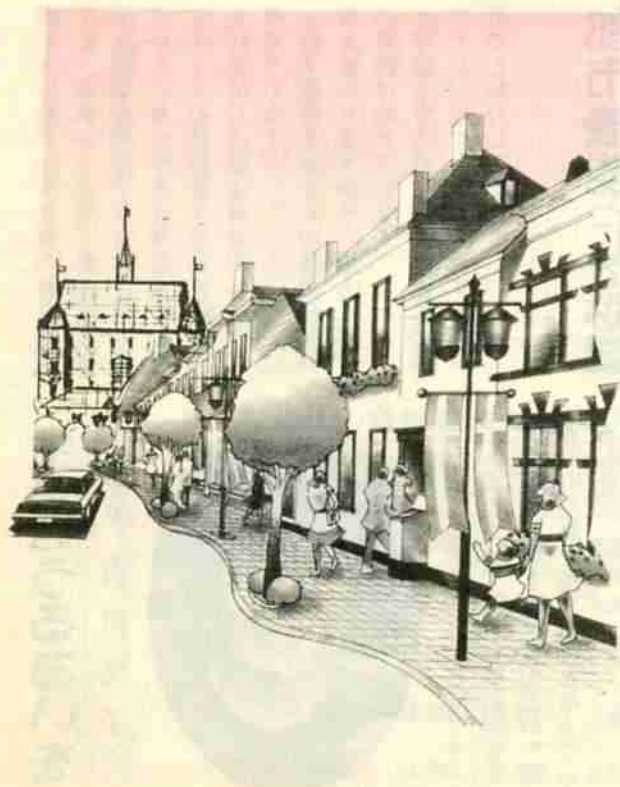
な方とそうでない方との相互理解が大切です。また、前記のとおり福祉施設への入所を希望されている方は少ないことから、今後は在宅福祉サービスの推進が大きな課題となつてきています。市は今後障害者(児)の「完全なる参加と平等」を実現するため、登別市障害者のまちづくり推進協議委員会の提言(平成元年八月)に基づき、今年度中に策定する「障害者のまちづくり対策の指針」に今回のアンケートにより得られた情報を十分に活用させていただきます。

コミュニティ道路



市は、登別駅前通りと登別ビーチパークを結ぶ道路として、東町三十六号線コミュニティ道路整備事業を進めています。

この道路は、歩行者の安全確保の面から歩道を拡幅し、歩道、車道をカラーブロックとしました。また、歩道には植栽、ベンチ、街路灯などを設置し、ふれあいの場となるよう予定しています。この道路に、親しみやすく夢の



ある名称を付けるため市民の皆さんから愛称を募集しますので、多数のご応募をお願いします。
(採用の方には記念品を贈呈)
▼応募方法 官製はがきの表に住

所・氏名・年齢・電話番号、裏に道路名とその理由を記入
▼応募期限 六月十五日(金)
▼応募先・問い合わせ 市都市計画課計画係(☎4115)

第4回

市長室フリータイムを実施します

市では、市民の皆さんが市長と自由に語り合える機会を拡げようと「市長室フリータイム」を設けています。

過去3回でおよそ40名の市民が来庁され、活発な意見が出されていますが更に多くの市民の皆さんと語り合えるよう第4回目を開催します。

日頃、市長と会って話したいと考えている方は、どうぞこの機会をご利用ください。

この時間帯、市長は他の予約を入れておりませんので、お気軽にお越しください。

▶日時 5月18日(金) 午前9時30分～午前11時30分(予約は不要です)
※市長室フリータイムに関するお問い合わせは、総務課広聴広報係(☎1130)まで。

いきいき人とまち

田中 寛志さん



平成元年度のいきいき人とまち推進事業での海外派遣第一号となった田中寛志（三十四歳）さんが、一月に及ぶニュージーランドでの研修を終え、三月に帰国しました。

今回は、田中さんにこの事業に応募した動機やニュージーランドの印象、感じたことなどについてお話を聞きました。

ニュージーランド訪問

ニュージーランドの第一印象は、北海道とよく似ている所という感じですが、島国のためかどうかは判りませんが、風景が非常によく似ています。地獄谷のような温泉があつたり、美しい湖、広大な牧草地などもあり、群れをなした羊が居なければまるで北海道ですね。日本から出て改めて、自分の住んでいる土地を再認識したようなところがありました。

田中さんは、市内緑町で田中光学技研を経営するかたわら青年会議所やいきいき人とまち推進事業のメンバーとして、まちづくりに積極的に参加しています。このような活動の中からニュージーランドを選んだ理由について、こう語ってくれました。

いま、オーストラリアやニュージーランドに年間二十万人位の日本人が行くんですね。この日本人だけを対象にしてもなにか事業ができるんじゃないかと考えた訳です。特に、ニュージーランドには七千万頭と言われる羊がいますが、羊毛を輸入して登別市内のサークルや婦人団体とタイアップして加工製品化し、これを輸出する。日本人の感覚に合った製品であれば、向こうの日本人客にも売れるんじゃないかと、特に根拠がある訳ではないんですが、そう考えてみたんです。それに、こういう機会に人や物の交流ができれば、そこからまた何か新しいものが生まれくる。そのためにも、まずニュージーランドのことを知らなければならぬ。文化・産業・教育などといったものを自分の目で確

め、肌で感じてみたい、そういう理由でニュージーランドを選びました。

今回訪問したのは、十五の市と町でした。二日に一つのまちという強行軍で、都市間交通はほとんど飛行機です。飛行機といっても十人乗りくらいのプロペラ機で、飛んでいるというより、漂っているという感じでした。

向こうでの対応は、あらかじめ連絡していくのでなく突然訪ねるという形でしたが、大変親切にしてくださいました。こちらの市長さんからのメッセージを出し、訪問の目的を説明すると係の人はすぐ市長さんに取りついてくれました。メッセージを読んですぐ担当者呼び

対応してくれました。ニュージーランドではかなりの都市が日本の都市と姉妹提携をしていますし、走っている車も日本車が圧倒的に多く、そんなこともあって日本に対しては友好的なのかも知れません。

感謝しています。

また、市民生活の印象ですが、豊かだなと感じました。お金や消費という物質的なことではなく、精神的な面です。商店街は夕方五時には閉まりますし、テレビは三つのチャンネルしかなく、夜十時になるとほとんど一日の生活は終わりという感じですけど自然相手のレジャーが盛んですし、自分の家にスパプール（温泉プール）を持っているたり、うまく自然と共存している生活だなんて感じました。日本もそろそろそういうことを持つても良いような気がします。自然と言えば、北海道の自然は貴重な財産だと思います。ニュージーランドにも負けないでしょう。だから、無計画な開発をするのではなく、この自然を保護し、育てていくことが大切なんだと思います。そういうまちづくりができれば最高でしょう。

今後、この研修の成果をまとめて、推進会議での活動を通じて報告させてもらいたいと考えています。それに貴重な体験をさせていただいたのですから機会があればいろいろな話しもしてみたいと思っています。



“都市間交通はもっぱら小型飛行機でした”

あなたも文化の貯金をしませんか？

「登別地域大学」を自らの手で

リポーター
廣瀬 淑子 さん



リポーター
廣瀬 淑子 さん
(登別町在住)

廣瀬さんは、国際交流会理事、朗読ボランティア等の地域活動や、「ヨガ」のインストラクターを努めるなどさまざまな分野で活躍されている奥様です。

十月開校に向けてスタート

市民自らの手で著名人を講師に呼び、自主学習をしようという「仮称・登別地域大学」の設立準備会が四月十二日夜、商工会議所で開かれると聞き、さっそく取材させていただきました。

設立準備会には、三十数名の賛同者のうち二十五名が出席。これまでの経過報告のあと、設立準備会の代表に中山浩資さん（日本工学院北海道専門学校長）を選び議事に入りました。

会費は、年間一人一万円（夫婦会員は、一万五千円）とすること、領収書は、学生証の発行にかえること、開校を十月一日にすることなどが確認され、今後、開設に向けて、組織や規約づくり、大学の名称、呼びかけキャッチフレーズづくり作業に取り組むことになりました。

この地域大学は、昨年十二月から有志が集まり月一度のペースで

構想を練り、二月には、メンバー三人が、ふるさと創生一億円の活用案を考える市民会議「いきいき人とまち推進会議」のメンバー七人と江差町の地域大学に視察に行くなど積極的に設立の可能性について調査・研究に取り組んでいました。

視察先の江差町では、江差地域大学の事務局長から設立の動機や組織の運営方法を学ぶとともに、ちょうど視察当日開催されていた講座に特別聴講生として体験入学、松本登さんの講義「町おこし」を受講し、登別での設立に意を強くしたそうです。

なぜ地域大学が必要なのでしょう

老若男女を問わず、人と人とのつながりが強められること——私たちにとって、いま、最も大切なことでしょう。

登別は、地理的に四つの地域で成り立ち、それぞれが特色を生かしながら発展しつつありますが、なかなか人的ネットワークやコミュニティケーションが育ちづらいと言われています。マチを愛する心は、皆同じ。それならば、お互いに理解しあうことから始まるのでは……地域大学の発想の根には、そんな思いがあるようです。

自己の学習のためには、自分でお金を出すこと、一人では聴けな

い著名な方々の話を、みんなでお金を出しあい（割勘根性）聴くことにより発想の転換への刺激になること、同じ話を聴くことは、同じ土俵で話し合いができ、色々な分野の勉強ができ、ものの考え方が広く、深くなり、自己変革につながる（自己変革なくして他の変革は起らない）、人を、町をやがて変える起爆剤になるのでは……。

地域大学設立の気運は、生涯学習が問われているいま、素晴らしい出会いからまちづくりに、心豊かで楽しい生活をおくるために、「皆さん文化の貯金をしませんか？」と問いかけられているような気がしました。私自身も、取材を通じました。

地域大学設立準備会では、今後、五月下旬に江差地域大学の事務局長を招いての研修会や「なぜ今、登別で地域大学なのか」についての議論を深めるなどして、学生の拡大や市民への呼びかけを行う予定です。

地域大学設立準備会の皆さんの真剣なまなざしに、矜がただされる思いをするとともに、この運動が、最初は小さな石でも、やがて大きな波紋として拡がり、市民の問題意識を喚起することになればと念じつつ取材を終えさせていただきました。

▼設立準備会へのお問い合わせは ☎1239 野崎さん



「登別地域大学」の設立準備会。出席した25名の方々は、早期開設に向けての活動に取り組むことになりました。

市民 体験隊

水泳教室入門

リポーター 岩佐 春江さん

市民
プール



子供が水泳を習っていた頃、よく付き添いでプールに出かけました。

横のコースで、きれいなフォームです。泳いでいる女性を見て、私もあんな風になりたいと思いい、見よう見まねでやってみただけ（体のふくらみだけで）のですが、前へ進むとうとするとなぜか沈んでしまう状態でした。

何が悪いのか、きちんと教えてもらう事が出来たなら私でもきつ

と泳げる様になるんじゃないかと
思っていた所、今回の体験リポ
ートの企画で市民プールの水泳教室
に参加させていただく事になりました。

無理なお願いを快く引き受けて
下さった橋先生は、高校時代団体
にも出場された事のある経験豊富
な方。指導歴は十五年と言う超ベ
テランの先生です。

「泳ぐようになったきっかけは」
とおたずねすると、産まれ育った
所が江差という所だったので、小
さい頃から自然に水に親しんだと
いう事でした。

「水泳の良い所は、相手が居な
くてもプールと水があれば一人で
も気軽に出来るんですよ」とニコ
ニコして話して下さいましたが、
目は鋭く私の運動能力を計ってい
ました。

人間は元々、地に足をつけて歩
く事が基本だと頑固に思っていた
私は、空を飛んだり、水の中にも
ぐったりする事にとっても恐怖心
がありました。そんな事を考えなが
らさっそく子供達のグループに入
れてもらいました。

まず、小学一・二年生の子と一
緒にプールサイドに腰かけ、足だ
けを水につけてのバタ足から始ま
り、水の中に頭を入れ、中で目を
開ける事を一通り教えていただい
た後は、いよいよ先生とマンツウ
マンで深い方へ移動です。
レポーターとしての使命感とこ

れからどうなるのだろうかという不
安感が交差するのにもかかわらず、頭
を水につけ手をのぼす。浮いたと
感じたら足を動かす。息の切れる
所まで続ける練習です。

次に、あおむけに浮び、同じよ
うに足を動かす。先生の手助けと
アドバイスでなんとか練習らしい
ところに来たかなという所で一日
目は終了。この間三十分程しか水
に入っていないのに、不安と
緊張のせいか疲れがドツと出てし
まいました。

さて、いよいよ二日目です。今
度は手と足を一緒に動かす事から
始まりました。やってみると、と
にかくきこえない、頭をもう少し
深くぐ背中をそってぐと先生の声
が優しくも厳しく飛んできます。

手を動かすと足がとまる。足を動
かすと手がとまる。足・手・頭の
リズムがバラバラ。先生の声を遠
くでききながら水の中で無我夢中
でもがくこと二時間余り。根気よ
く教えていただき、帰る頃には浮
く事から何とか進む所までなりま
したが、泳ぐという言葉には、ほ
ど遠いものがある様に感じました。

普通は十日間で習う事を、こん
な短い期間で教えていただいた
先生に対して、感謝の気持ちでい
っぱいです。

心よい疲れと無事終わった安堵
感に、また機会があったらチャレ
ンジしてみたいなどと思っていま
す。

水泳は、腰痛や肩こりの人にも
適しているスポーツだということ
です。それに、これからはお年寄
りの水泳人口も増えつつあるとい
うことです。橋先生のモットウで
ある、あせらず、ゆっくりと、そ
れぞれに合った指導方法です。ま
すのご活躍をお祈りしております。
二日間、本当にありがとうございました。

リポーター 岩佐 春江さん(若草町在住)

岩佐さんは、ママさんバスケッ
ト「^{みどり}クラブ」の一員
全道大会出場の経験もあるスポーツ大好き人間です。ご家
庭ではよき妻、よき母親でもあります。

今、なぜ

生涯教育…

私たちの身の回りは、衣足り、食も足り、そして住もまあまあという環境にあります。そこで今、将来に不安が無いかと言えば、多くの市民の方々が不安を抱えています。それは、高齢化社会が進む中で、自分の将来に自信が持てないでいる姿が突出しています。

また、社会の進展に伴って、職業上の技術や能力に不安を感じている方など、多様な姿が浮きほりになっていきます。

では、これからの社会に適應していくために、私たちが日常生活をどうすればよいのでしょうか。

生涯学習 コーナー

そこで生まれたのが、「生涯学習」ということばです。

すなわちこれは、「人間は一生を通して学び続ける」ことを強調しているわけです。

この「学ぶ」ということを、どうとらえたらよいか、をしつかり理解しておく必要があります。

私たちは、「学ぶ」とか「学習」といえば、すぐに学校というイメージがわきます。決められた建物

生涯学習社会に向けて 生涯教育推進室

生涯教育推進室

で、一定の先生のもとに、与えられた教科書によって学んできました。要するに、学ぶ者の意志や欲求に入り込む余地が全く無かったわけです。その上定められた時間の枠で進められましたので、学びとったことの収穫の差が大きかったわけです。

このような生涯の一時期にのみ学習すればよいと言う考え方は、現代・未来には通用しないという社会であり、どうしても、それぞれの成長期に適した学習が求められています。

その上、価値の多様化、個性化、専門化、そして高度化というニーズに合った学習が、いつでも、どこでも、誰でも学ぶ機会があるという認識に立って、今日よりは明日、明日よりは更にといい意欲を

持って、豊かに生きることが必要です。

生涯学習で 何を学ぶ？

さきに述べたように、自身自身が、何によって生きがいを求めるか、ということですが、

決して堅苦しく考える必要はありません。例えば、スポーツ、歴史、文学、科学、ニューメディア、

趣味的なもの、ボランティア等々により出来れば友をつくり、

互いに励まし、支え合って、更にその学習を伸ばしていければ、と理解してください。



このように、市民のみならずが幸せを求めていくためのお手伝いをすべく、昨年、生涯教育推進室を設置し、更に本年度生涯学習振興基金を積み立て、将来に備えることにいたしました。どうぞ、「生涯学習」に関してどんなことでもお尋ねください。(☎1255)

荒井光子さん里帰りコンサート



この間、特に「屋根の上のバイオリン弾き」では十一年間に八百回出演したのを始めとして、現在は「マイ・フェア・レディ」に出演中です。

シャンソン歌手の登竜門と言われる銀巴里では、出演以来二十年近く歌い続け、持前の楽しいおしゃべりと明るいステージで人気を博しています。おさそいあわせのうえせひご来場ください。

▼日時 五月二十日(日) 午後五時三十分開場 午後六時開演

▼場所 市民会館大ホール

▼入場料 前売券：二千円 当日券：二千五百円

▼問い合わせ 洪木さん(☎7134)

市民ウォークラリー大会

参加者募集

登別市レクリエーション協会は、第七回全国一斉ウォークラリー大会を開催します。

登別の街の歴史や地名の問題を解きながら歩いてみませんか。多数の参加をお待ちしています。

▼日時 五月二十日(日)・受け付け：午前八時三十分から・出発：午前十時(雨天決行)

▼集合場所 幌別小学校グラウンド

▼コース 市内五〜六km

▼参加料 二百円(傷害保険・記念品)

▼準備するもの 歩きやすい服装とくつ、雨具

▼申し込み先 市教育委員会社会教育課(☎1100)

▼問い合わせ先 登別市レクリエーション協会事務局(☎5284) 菅野直さん

※参加者全員に大会記念バッジ、ペンダント型ボールペン、完歩賞サンバイザー

いんぎょいんぎょ・あんないんぎょ

登別市は全国的に有名な登別温泉を有し、年間三百万四十万人の観光客が訪れています。今号からは私達「登別市民」ならではの隠れた名所をご紹介します。

なお、このコーナーではみなさんからの名所の案内をお待ちしていますので、お気に入りの場所がありましたら市役所総務課(☎1130)へご連絡ください。

其の巻 三段の滝

釧山町からカマンベツ林道に入り三時ほど進むと三段の滝の看板

私の好きな場所

が目につきます。(カマンベツとは「岩盤・そこにある・川」の意味です。)

この滝は白い扇を逆さにしたような流で、高さは五十メートル。豊富な水が上・中・下の三段に分か



れたスペースとした岩肌を真白い絹のように流れ落ちていきます。涼味満点。一度足を運んでみてはいかがでしょう。

市民登場

友達の輪

要子さん
(45才 主婦)
富士町在住

要な人間なんて一人もいないって気付か

昭和四十三年結婚と同時に登別市民に。「友の会」歴十六年、その縁で信仰をもってます。どちらも未熟未だから続けられたの。まだまだだつてね。でも続けてきて良かったと思うことは、人の好き嫌いが減ったこと。誰でも良かれと思う方向で行動してるし、不必



いまこだわっているのは、木と水。つまり、自然。大げさだけど地球大事にしたい。そのために台所排水を汚さない工夫とか節電とか地味でちっほけだけど努力して

された時、自分のごう慢さに気づきました。そう、性善説で人を見れるようになったの。ま、解つていても完璧な実践は難しい。けっこう八方美人的振る舞い方になつちやつたりして……

ます。そうそう、資源の再生も大事。他市でもやっている牛乳パックの回収、当市もぜひやってほしいわ。これ強く希望します。まずは空パックに水を入れて、その水を植木にやり、開いて乾かして私の家までどうぞ。空カン、空ビン、もね。小さなことでも皆がやれば地球の砂漠化、防げると思う。祖先から引き継いだものを損わずに子孫に残すのは、義務だと思うのね。そのために、足もとから小さな努力の継続が大事だと思います。

「リポーター感」冠も勲章もないのに、キラめいて美しい「普通の」の凄さ。——坂本・中川——

今回は広田さんの紹介の吉野朴静さん。柏木町在住の先生が書道登場します。

乳児検診

- ▼内容 医師による診察、計測、生活指導、栄養指導
- ▼日程、会場、対象地区 五月二十四日(木)：鷺別公民館(鷺別地区) 五月二十五日(金)：鉄南ふれあいセンター(幌別、登別、登別温泉地区)
- ▼対象児 鷺別地区：平成二年一月、二月出生児 幌別・登別・登別温泉地区：平成二年二月出生児
- ▼用意するもの 母子健康手帳、バスタオル
- ▼受付時間 正午から十五分間
- ※神経芽細胞腫(小児がんの一種)の検査セットを同時に配付します。

母子・児童相談

- 子どもの非行や登校拒否、しつけ、自閉症、養護、ことばの障害、児童施設入所などでお困りの方は、お気軽にご相談ください。
- ▼相談日 毎日午前九時～午後三時まで(土・日・祝日を除く)
- ▼場所 福祉事務所福祉課福祉係(市役所一階)
- ▼室蘭児童相談所の定例相談 平成二年五月十七日(木) 午後一時～午後四時：鉄南ふれあいセンター二階和室
- ※室蘭児童相談所が行う定例相談を希望される方は、予約制になりますのでお申し込み、お問い合わせ

せは福祉事務所福祉係(☎2008)まで
相談は無料です。

登別市中小企業特別融資利率が改定

市は、四月一日より登別市中小企業融資制度の貸出利率を次のとおり改定しましたので、お知らせします。

なお、融資の相談については、市役所商工労政課商工係(☎2171)、または商工会議所(☎4111)、市内金融機関へお問い合わせください。

融 資 名	利 率
一般事業資金	●3年未満 5.2% ↓ 5.9%
団体事業資金	●3年以上 5.5% ↓ 6.2%
独立開業資金	●5.5% ↓ 6.2%
小口事業資金	●年5.5% ↓ 6.2%

オロフレ荘からお知らせ

国民宿舎オロフレ荘は、浴室内部工事のため日帰り客の入浴を一時休止します。
なお、宿泊の場合は時間交替制で入浴できます。

- ▼日帰り入浴休止期間 五月十日から六月十日まで
- ▼問い合わせ オロフレ荘(☎2861)まで

※市民の皆様のご理解とご協力をお願い致します。

今年度、登別最大の行事として注目される全国の「鬼サミット・登別」が、八月の「登別地獄まつり」に併せて、全国から鬼の先進国を迎え登別で開催される。

オニ文化の全国首長のシンポジウム、鬼文化講演会、鬼についての芸能発表、鬼展示会、鬼パレードなど、もろもろの鬼に関する大行事である。千年以上に及ぶ鬼の伝統文化をもち、鬼のことならわが町に」という鬼自慢の人達が全国から集まる鬼の大集

会は大層である。登別が「オニ文化」を全国で紹介する波及効果は絶大であろう。それに市制二十周年記念行事としての意味もある。

登別と鬼の出会い、言うまでもなく登別温泉と地獄谷で、それが鬼と結びつくようである。

江戸時代の資料は、登別温泉の火山活動の激しさを灼熱地獄の修羅場に例えている。

北方探検家として有名な松浦武四郎の初航海日誌に、「温泉川の西に硫黄を煮たる釜あり、三・四丁（三三〇びり四四〇びり）にして此処、礁石・礁砂、中程に温泉元有り。燃え上って行き難し。凡四・五十間の間焼灰のみにて常に黒煙立上り、山は燃崩れ温泉元の煮る音は百千の雷を轟す如くに

して、此処に温治する人頭痛をして帰る人多し。また噴き上げる熱湯三か所あり。此の山中霊あること其の地に至らば、心根物凄じくしてあやしく覚ゆるにて知らるべし。

もし内地に有らば賽の河原（鬼のてる）・生途の川（三途の川）の名もつき、嫁そしりの婆々の洗濯場ともなるべし」と地獄谷の景観を記している。蝦夷地調査をした市川十郎・榎原銈蔵の「野作東部日記」は、地獄谷の情景を「実

ほりべつゆのこんげん」と背面に彫つてあることを実証している（えぞのてふり）。登別温泉が当時も霊地として広く知られていたであろう。

地獄湯は悪業をなしたものが死後、鬼の呵責を受ける地獄であるが、登別温泉は前記のように霊地・霊山で、神・仏の存在する浄土の地でもあった。現在、湯沢神社前には三・五丁の赤鬼立像と、二・二丁の青鬼座像が並び、その間に鬼祠があり、江戸時代から伝わるという「念仏鬼像」もまつられている。勇猛な鬼が仏を守り、また念仏を唱え仏を信じたならば鬼は人間を諸悪から守ってくれると言ふ事と身を熱湯に投じて命を絶つた多くの霊もまつられている。



郷土史点描 「オニ」と 温泉——登別

登別郷土文化研究会 宮武 紳一

に焦熱地獄とも言うべし、畏るべし」と記し、両者とも鬼のすむ地獄に例え、奈落（地獄）の底を歩むが如く恐ろしい場所であることを表現している。

霊山・霊地としての伝説は、鎌倉時代の日進・日持の来泉を伝えるが虚実であつても意味が大きい。寛文五年（一六六五年）頃、蝦夷地に渡り、一木造りで彫つた円空の「鉈作り観音」は、三河国出身の菅江真澄が有珠善光寺の小祠で発見した三体の中の一休である。

熱湯があふれ出る地獄谷に、年一度地獄のカマのふたが開き、エンマ大王の命令で、親善使節として人間の住む街にやってくる赤鬼・青鬼を、地獄ばやしや鬼踊りの大群舞で迎える「登別地獄まつり」も今年で二十七回を数える。登別東インターチェンジで客を迎える赤鬼は、身長十八尺、体重十八石もある。力強い登別の「オニ」のイメージも、市民に定着しつつあるように思うがいかがであらうか。

北海道国際交流事業 海外派遣団員募集

北海道青年婦人国際交流センターは、海外に派遣する青年を募集します。

この事業は、北海道の青年を海外に派遣し、外国の青年との交流等を通し相互の理解を深め、国際協力の精神と行動力を養い、北海道の国際化の進展に役立てようとするものです。

- ▼募集人員 カナダ・北米班：二十五名、中国班：十二名、東南アジア班：十二名
- ▼応募書類 推せん願（一部）、参加申込書（2部）、履歴書（2部）、勤務先等の長の承認書、健康診断書（医療機関備付けのもの）、レポート（自筆のもの）

▼応募期日 五月十七日まで
※健康診断書、レポート以外の応募書類は市役所にあります。その他詳しい内容については、市役所総務課（☎1130）までお問い合わせください。

北海道科学研究事業 対象者募集

北海道は、科学技術研究の促進を図り、道民生活の向上と産業経済の発展に寄与するため道民が行う科学技術研究に対し補助金を交付しています。

- ▼補助内容 個人研究：二十万円以内、共同研究：百万円以内
- ▼募集期間 五月十四日まで
- ▼問い合わせ 市役所総務部企画調整室（☎1122）

あ と が き

★今号から一日号の装いをあらたにしました。ページ数を従来の8ページから12ページとし、見出し等に色をつけるなど見やすい紙面づくりを心がけたがいかがでしょうか。

★また、市民参加の広報紙づくりをすすめるため「広報市民リポーター」として五人の方のご協力をいただくことになり、今号から、それぞれ登場です。これからも、取材等で皆さんのところへあうかがいする機会があると思います。その時は、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

★広報のほりべつでは、市民の皆さんのご意見や情報をお待ちしています。次号からは、投書、意見欄を予定しています。どうぞ、お寄せ下さい。